

教皇フランシスコ 回勅『ラウダート・シ』お試し読書会

『ラウダート・シ』の構成と各章の概要

序（無関心でいられるものはこの世に何一つありません/同じ懸念に結ばれて/アツツの聖ワツス/わたしの訴え）

第1章：ともに暮らす家に起きていること

地球上で起きている、いわゆる環境問題の代表的なものを挙げて考察しています。わたしたちが明確に自覚しておかなければいけない現状を考えるのにヒントになる章です。

第2章：創造の福音

聖書やユダヤ・キリスト教伝統に照らしつつ、自然への人類の責任、あらゆる被造物間の密接な相互関係、共有財としての自然環境について考察しています。

第3章：生態学的危機の人間の根源

生態学的危機の根源を、技術至上主義や極端な人間中心主義に同定し、人格の尊厳を損なう実践的相対主義に警鐘を鳴らします。

第4章：総合的なエコロジー

この回勅の最も中心になる部分で、環境問題と緊密に結びついた「人間的・社会的側面を明確に含む総合的なエコロジー」を提示しています。

第5章：方向転換の指針と行動の概要

国際的なレベル、国内、地域、個人などさまざまなレベルでの具体的な行動や課題が挙げられ、指針を提示しています。

第6章：エコロジカルな教育とエコロジカルな霊性

聖ヨハネ・パウロ二世が呼びかけた「エコロジカルな回心」を受けて、エコロジカルな回心に資する（良き習慣を形成し維持し発展させる）教育の必要性と、教会の霊的伝統に潜む「エコロジカルな霊性」の重要性を強調しています。

二つの祈り（被造物とともにささげるキリスト者の祈り/わたしたちの地球のための祈り）

（2016年11月19日 瀬本正之師 上智大学公開講座レジュメより）

<繰り返される10のテーマ>にみる5つの視点

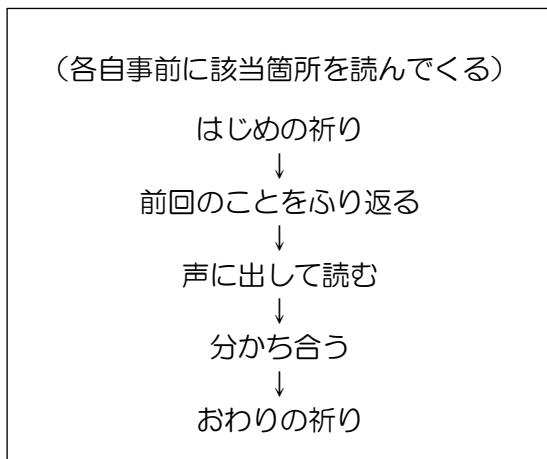
貧しい人々と地球の脆さのつながり	貧困問題と環境問題とは同根
あらゆるもののつながり	
テクノロジー由来の権力構造（テクノクラシー）	経済を巻き込み政治を左右する
本来の経済？本物の進歩？	
それぞれの被造物の固有価値	自然の中の人間の位置とその責任
人間存在にふさわしいエコロジー	
率直で正直な討議	健全な集団的意思決定を支える対話
国際的／地域的政策の責任の重さ	
使い捨て文化	文化を変えうるライフスタイル
新たなライフスタイル	

（2017年4月25日瀬本正之師 福音宣教企画室講演レジュメより）

『ラウダート・シ』読書会のヒント

『ラウダート・シ』は1～246、そして2つの祈りで構成されています。
したがって246の文章を、単純に5つずつ読んでいくとすると約50回かかります。
ですが第一章からすべて順番に読んでいくことだけが、読書会のやり方ではありません。
自分たちに合ったやり方を自分たちで考え、実践することは神様にも喜ばれるでしょう。

【読書会の基本的な流れ】



- 祈りで始まり、祈りで終わるようにしましょう
- はじめの部分（序）は時間をかけて、ていねいに読むことをおすすめ
- 第一章から順番に読む必要はありません
- 読書会のグループではすべての内容を扱えないこともあると思いますが、「あらゆるものはつながり合っている」ので少なくとも各々で最初から最後まで読むようにしましょう

★たとえば以下のような方法を取り入れることも可能です

- 注を参考に、本文中に引用・参照されている文章を読んで、分かち合いをする
- 本文中に取り上げられる聖書箇所を読んで分かち合う
- 章の最後（または途中）に1回余分に設定し、ラウダート・シをく読む→分かち合う>とは別の特別な内容を企画する。たとえば注にある文献を読んで分かち合いをする、内容に沿った発表をして分かち合う、専門的な知識を持つ人を呼んで話してもらうなど。
- 章ごとに、または回ごとになど、読書会のメンバーで順番に担当する

参考資料

1990年 教皇ヨハネ・パウロ二世「世界平和の日」メッセージ

2010年 教皇ベネディクト16世「世界平和の日」メッセージ

2016年 教皇フランシスコ「世界平和の日」メッセージ

2016年 教皇フランシスコ「被造物を大切にす世界祈願日」メッセージ

日本カトリック司教団『いのちへのまなざし【増補新版】』カトリック中央協議会 2017年

*教皇文書（メッセージ）はカトリック中央協議会のHPで閲覧、印刷可能